

資料2

令和4年度 射水市公募提案型市民協働事業 事業評価結果

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III事業の実現性・実施能力	IV先駆性・独自性	V自立性・持続性	
1	のじた盆踊り継承事業	245千円	観光・定住課	a	a	a	a	a	A
	のじた踊り屋台保存会	(736千円)	令和元年度(3年目)※R2休止						
2	若い世代が活動して育てる田舎～射水南部丘陵(里山)魅力発信～	68千円	農林水産課	a	a	b	b	a	B
	一般社団法人 金山里山の会	(205千円)	令和2年度(3年目)						
3	あきらめないで挑戦する自分になる!「自分を応援できる自分づくり」促進事業	194千円	学校教育課	a	a	a	a	a	A
	富山福祉短期大学	(292千円)	令和3年度(2年目)						
4	コロナ禍における外国人住民の生活実態の把握と課題解決方法の協創-永住者とその家族の活躍の場創出を見据えて	100千円	未来創造課	b	b	b	b	b	B
	富山県立大学	(134千円)	令和3年度(1年目)※R3休止						
5	もっと知って、もっと繋がる多文化交流事業～外国人と地域住民の交流型イベント『LINK PARK』～	624千円	未来創造課	a	a	a	a	a	A
	射水まちづくりネットワーク・射水市民国際交流協会	(914千円)	令和3年度(1年目)※R3休止						
6	若い芽・こども音楽コンクール	418千円	市民活躍・文化課	a	a	a	a	a	A
	若い芽・こども音楽コンクール実行委員会	(952千円)	令和4年度(1年目)						
7	射水南部丘陵における【人間の営みと野生動植物(特に両生類)の共生】を促進する事業	730千円	環境課	a	a	a	a	a	A
	NPO法人 自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会	(974千円)	令和4年度(1年目)						
8	イミズ そうめんのだす(出汁)	542千円	観光・定住課	a	a	a	a	a	A
	射水市世界一挑戦塾・しろえび未来企画有限責任事業組合・一般社団法人金山里山の会	(737千円)	令和4年度(1年目)						

令和4年度 射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業評価結果

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	地域振興会名	(総事業費)	開始年度(年数)	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
1	三ヶ獅子舞ルネッサンスまちおこし事業	200千円		a	a	a	a	a	A
	三ヶ地域振興会	(393千円)	令和3年度(2年目)						
2	小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦	200千円		a	a	a	a	b	A
	三ヶ地域振興会	(300千円)	令和4年度(1年目)						
3	後世に伝えよう！庄川の鮎を使った食文化	200千円		a	a	a	a	a	A
	大門地域振興会	(310千円)	令和4年度(1年目)						
4	「作道の自慢」冊子発行事業	200千円		a	a	a	a	b	A
	作道地域振興会	(392千円)	令和4年度(1年目)						

令和4年度 射水市公募提案型市民協働事業 事業実施結果

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
1	のじた盆踊り継承事業	245千円	観光・定住課	a	a	a	a	a	A
	のじた踊り屋台保存会	(736千円)	令和元年度(3年目)※R2休止						
事業期間				令和4年4月1日～令和4年10月31日					
※参考 イベント等を開催した場合は、開催日				7月30日、8月11日					
※参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				約1,000人					
事業概要				担当課としての所感					
かつて新湊市や射水郡の一带に盆踊りとして伝えられてきたのじた踊りの継承と普及に努め、郷土芸能として定着させることで、射水市民の一体感の醸成や郷土愛の醸成、地域の活性化につなげる。				今年度は「川の駅新湊」と「クロスベイ新湊」の二か所で開催された。開催まで小学生を中心に講習会が行われ、文化の継承も行われた。団体の伝手で有名タレントを呼んだり、イベントに付随して様々な集客のしかけを催したことで、多くの方に来場いただき、のじた盆踊りを多くの方にPRすることができた。					
担当課としての今後の対応									
新湊まちづくり協議会等で、事業の継続が検討されていく。				 					

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
2	若い世代が活動して育てる田舎～射水南部丘陵(里山)魅力発信～	68千円	農林水産課	a	a	b	b	a	B
	一般社団法人 金山里山の会	(205千円)	令和2年度(3年目)						
事業期間				令和4年4月1日～令和5年3月31日					
※参考 イベント等を開催した場合は、開催日				2月12日(味噌づくりワークショップ)					
※参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				20人					
事業概要				担当課としての所感					
射水南部丘陵の里山は荒廃が進んでいるため、森林や林道の整備やワークショップ、里山体験交流会、地域資源を見える化した航空写真等の作成を通して里山の利活用を図り、交流人口の増加や持続可能な里山整備を目指す。				里山整備活動については、富山県西部森林組合が伐採した残置木を薪やチップ・堆肥として利用するなど、里山の資源を余すことなく活用しており、持続可能な里山管理の手法を構築していた。 また、本事業で報告のあった事項以外にも、不登校で悩む学生に対し、里山活動に誘い、生活における基礎的な力を身につけさせるなど、教育分野においても貢献していた。					
担当課としての今後の対応									
補助終了後となる令和5年度においても、金山地区において引き続き森林整備事業を展開するため、里山整備で発生した残置木等の資源について、金山里山の会と連絡しあい、資源の活用について協議していきたい。				 					

No.		補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
3	あきらめないで挑戦する自分になる！「自分を応援できる自分づくり」促進事業	194千円	学校教育課	a	a	a	a	a	A
	富山福祉短期大学	(292千円)	令和3年度(2年目)						
事業期間				令和4年4月1日～令和5年3月31日					
※参考 イベント等を開催した場合は、開催日				6/17、6/24、7/1、7/14、9/16、9/30、10/13、10/21、10/28、11/11、11/12					
※参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				約574人					
事業概要				担当課としての所感					
新型コロナウイルスの感染拡大により、生活に対する不安や制約によるストレスを感じ、大人も子どもも心の安定が難しくなっている。本事業では、子どもたちにコーチングプログラムの授業を提供し、コロナ禍においても心の状態を安定させ、あきらめずに挑戦する自分づくりを促進する。				市内各小学校の児童において、自己対話の機会を与えると同時に、「自分を応援できる自分づくり」のスローガンのもとに市内小学校の児童の自己肯定感や自己対話の大切さを学ぶきっかけになった。また、参加した児童からは多くのポジティブな感想が見られ、前向きに物事を思考する考え方を身に付ける良い機会となったと考える。 担当課としては、学校との調整を担ったり、補助金の申請や支払上必要な書類を適切なタイミングによる声かけによって提出を促すなど、当該事業者と学校との間での事業実施のサポートを担うことができた。					
担当課としての今後の対応									
次年度についても、補助事業や学校との調整などの形でサポートし、補助事業の終了後については、3年間の実績等を踏まえ、総合的に判断し検討したい。				 					

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
4	コロナ禍における外国人住民の生活実態の把握と課題解決方法の協創-永住者とその家族の活躍の場創出を見据えて	100千円	未来創造課	b	b	b	b	b	B
	富山県立大学	(134千円)	令和3年度(1年目)※R3休止						
事業期間				令和4年4月1日～令和5年3月31日					
※参考 イベント等を開催した場合は、開催日									
※参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数									
事業概要				担当課としての所感					
射水市は県内で最も外国人人口比が高い地域であるが、定住者とその家族の日常生活とその課題については十分に把握できていない。 外国人住民の中でも永住者とその家族に焦点を当て、コロナ禍における生活実態の把握と課題解決方法の協創に取り組む。				市がキーパーソンのリストを提供した後は助言を求められることはなく、事業を進められていた。インタビューについても日常的に外国人の方から話を聞いている内容であった。当初の事業の目標は達成されなかったが、事業報告書の成果の「射水市に期待すること」では、住民との交流の後押しと記載されており令和5年度に取り組む多文化共生まちづくり交流会の実施など市の方向性とは一致している。					
担当課としての今後の対応									
令和4年度で事業は終了したが、インタビュー協力者の情報を提供いただき市の多文化共生キーパーソンになりうる方がおられるのか確認する。									

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
5	もっと知って、もっと繋がる多文化交流事業～外国人と地域住民の交流型イベント『LINK PARK』～	624千円	未来創造課	a	a	a	a	a	A
	射水まちづくりネットワーク・射水市民国際交流協会	(914千円)	令和3年度(1年目)※R3休止						
事業期間				令和4年4月1日～令和4年12月28日					
※参考 イベント等を開催した場合は、開催日				ワークショップ:7/16、8/20、9/23、9/24 イベント:10/22					
※参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				ワークショップ:60人 イベント:25団体					
事業概要				担当課としての所感					
射水市は県内で最も外国人人口比が高い地域であるが、なかなか地域になじめない外国人が少なくない。 地域住民と外国人が交流し、相互理解を図るきっかけとして、文化交流ワークショップやワークショップの成果発表もかねたイベントを開催し、多くの市民が連携するまちづくりを進める。				外国人住民の中心となるキーパーソンを紹介し、事業の広報や助言を行った。多文化交流イベントは単発で終わらずに、回数を重ねることで更なる文化理解に繋がる。今回のように1回目では、交流のきっかけづくりになったことは間違いないが、効果が継続しているとは言い難い。また、音楽で地域住民を巻き込むという発想は画期的であったが、市民認知度80%の目標数値は達成できていないと感じる。					
担当課としての今後の対応				 					

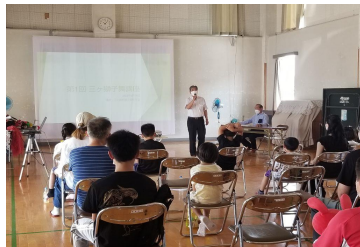
No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
6	若い芽・こども音楽コンクール	418千円	市民活躍・文化課	a	a	a	a	a	A
	若い芽・こども音楽コンクール実行委員会	(952千円)	令和4年度(1年目)						
事業期間				令和4年4月1日～令和4年10月7日					
※参考 イベント等を開催した場合は、開催日				10月2日					
※参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				86名					
事業概要				担当課としての所感					
幼児期・学童期の子どもを対象とした音楽コンクールを開催し、入賞を目標とするコンクールに参加することで音楽への意欲・関心を高め、生涯にわたり音楽に親しんでいく機会を促進し、人材育成及び人材発掘に取り組む。				本コンクールは、本市で初めて開催される子どもを対象としたコンクールであり、当初50人の参加者を見込んでいたところ市内外から86人の参加申込があった。コンクールの開催により、幼少期から音楽に触れる機会や日々の練習の成果を発表する場を提供した。音響に優れた小杉文化ホールを会場として使用することで、施設の魅力も発信した。次年度の開催に向けては、参加者数の制限、開催日程を改めて検討する必要がある。 担当課として、広報やホームページなどで開催を周知し、市内教育機関への参加案内を行うとともに、コンクール当日の受付業務等を行った。					
担当課としての今後の対応				 					

次年度(事業2年目)も引き続き協力しながらコンクールの開催を支援する。

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
7	射水南部丘陵における【人間の営みと野生動植物(特に両生類)の共生】を促進する事業	730千円	環境課	a	a	a	a	a	A
	NPO法人 自然環境ネットワーク・射水市ピオトープ協会	(974千円)	令和4年度(1年目)						
事業期間				令和4年4月1日～令和5年3月31日					
※参考 イベント等を開催した場合は、開催日				5/3、5/7、5/15、6/23、7/10、7/20、7/26、7/29、8/18、3/27					
※参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				250名					
事業概要				担当課としての所感					
里山地域が多い射水市において【人と野生動植物の共生】を図り、生物多様性・生態系の理念を啓発し、希少動植物・地域在来動植物・絶滅危惧種の保存を図るとともに過密化や高齢化の進行による里山の生物多様性の衰退を防ぎ地域の活性化を図る。				当団体は、これまでピオトープ池、水路、遊歩道、森等を造成するなど自然との共生を目指し、精力的に活動されている。また小学生を対象とした観察会等を開催することで若い世代に自然環境と触れ合い、興味を持ってもらうことで長くこの活動が継続できるように考えている。今後は、さらに幅広い年代に対し、生物調査や自然観察セミナー等を行うことで、自然保護の普及を目指している。射水市の豊かな自然を次世代に継承していくために当団体の継続した活躍を期待するものである。					
担当課としての今後の対応									
自然環境や里山環境を守る活動は、本市の豊かな自然を守り、未来につなげることに直結している。次世代の子供たちにも興味を持ってもらうことで、長く継続していかなければいけない事業であることから、今後も当団体の活動を支援していきたいと考えている。				 					

No.	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
8	イミズ そうめんのだす(出汁)	542千円	観光・定住課	a	a	a	a	a	A
	射水市世界一挑戦塾・しろえび未来企画有限責任事業組合・一般社団法人金山里山の会	(737千円)	令和4年度(1年目)						
事業期間				令和4年7月1日～令和4年9月5日					
※参考 イベント等を開催した場合は、開催日				海体験学習会：7/16、山体験学習会：7/18、イミズそうめんのだす(出汁)イベント：8/11					
※参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				海：19人、山：6人、イベント600人					
事業概要				担当課としての所感					
新型コロナウイルス感染症により県内市内のイベントが減ってきている。射水市の地の利を生かし、しろえびやシイタケを使用した新湊そうめんの出汁を再現するイベントを開催し、「地域の価値」の再構築に取り組む。また、子ども達が海と山の体験することで、射水市の魅力発見に取り組む。				参加した児童にとって射水市の豊かな自然を体感できる良い機会であり、子どもたちの地域愛の醸成に寄与している。次年度に向け、会場の利便性の観点から開催場所の検討が必要である。本事業において、担当課としてイベントの周知、当日の受付等を担ったが、イベント周知を中心に役割を全うできたと思う。					
担当課としての今後の対応									
引き続きイベントの周知や当日業務等連携を図って実施する。				 					

令和4年度 射水市地域提案型市民協働事業 事業実施結果

No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
1	三ヶ獅子舞ルネッサンスまちおこし事業	200千円	令和3年度(2年目)	a	a	a	a	a	A
	三ヶ地域振興会	(393千円)							
事業期間				令和4年4月1日～令和5年3月31日					
※参考 イベント等を開催した場合は、開催日				3月26日に成果発表会を開催(他に9回講座を開催)					
※参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				約50人(3月26日)					
事業概要				担当課としての所感					
地域の文化である獅子舞の復興・伝承に青年層の有志が取り組むことで、自らが地域文化の担い手であるという意識を醸成するとともに、若い世代が地域参加することによる地域活性化につなげる。				市内外から子どもから大人まで幅広い年齢層の受講生が集まった。下条川の桜まつりでの披露や、成果発表会を通して、1年目よりも多くの方が参加した。また、動画配信サイトを活用した周知とともに、昨年度から継続して笛用マスクを活用するなど感染対策が工夫して行われていた。資金面についても、サポーター募集や、地域から寄付金を募るなど継続して開催することができる体制づくりがなされていた。					
担当課としての今後の対応									
次年度以降も事業の周知に向けてケーブルテレビ等の広報活動に取り組んでいく。				 					

No.	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
2	小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦	200千円	令和4年度(1年目)	a	a	a	a	b	A
	三ヶ地域振興会	(300千円)							
事業期間				令和4年6月1日～令和5年2月28日					
※参考 イベント等を開催した場合は、開催日				10/16					
※参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				50人					
事業概要				担当課としての所感					
小杉三ヶ地区の下条川沿いの更なる魅力向上を推進していくため、桜の開花時期に合わせて花が咲くよう、下条川の土手沿いにスイセンの植え込みと清掃活動を行う。				約50人の地域住民がスイセンの植え付け作業に参加するなど、地域ぐるみでの整備が進められていた。下条川の土手に2,000球のスイセンを植えたが、当初の計画のとおり桜が咲く時期に合わせて開花しており、地域の魅力向上につながった。今後もスイセンの植え付け範囲を広げる計画となっており、地域の賑わい創出につながっていくと考えられる。					
担当課としての今後の対応									
小杉地区の魅力発信に向けて事業の周知・協力などを行っていく。				 					

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
3	大門地域振興会	200千円		a	a	a	a	a	A
	後世に伝えよう！庄川の鮎を使った食文化	(310千円)	令和4年度(1年目)						
事業期間				令和4年4月1日～令和5年3月31日					
※参考 イベント等を開催した場合は、開催日				6/19、12/4、1/29、2/19					
※参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				109名					
事業概要				担当課としての所感					
鮎料理の講習会の開催や、各家庭でも郷土料理に挑戦できるよう、郷土料理の作り方や歴史的背景をまとめた冊子を作成し、庄川の鮎に親しみ、郷土の自然の恵みに感謝しながら、地元の食文化を伝えていく。				郷土料理の講習会・交流会では、市内外から幅広い世代の方が参加したことで、大門地区の郷土料理について興味を持ってもらえた機会になった。 今後、三世代交流事業に組み込むなど、子ども達へ地域の食文化を伝承していただきたい。					
担当課としての今後の対応									
引き続き講習会等行っていく際に事業のアドバイス、周知等を図っていく。									

No.	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	I 課題解決	II 協働の効果・事業の効果	III 事業の実現性・実施能力	IV 先駆性・独自性	V 自立性・持続性	
4	「作道の自慢」冊子発行事業	200千円		a	a	a	a	b	A
	作道地域振興会	(392千円)	令和4年度(1年目)						
事業期間				令和4年4月1日～令和5年3月31日					
※参考 イベント等を開催した場合は、開催日									
※参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数									
事業概要				担当課としての所感					
校区内の「自慢」を発掘・集約し冊子化することで、今まで注目されていなかったこと・物等を地域住民に気づいてもらい、自信・自慢につなげることで、地域への関心を高め、活性化を目指す。				住民の方々から自分の住んでいる地域の自慢を集めることで、住民自身が意外と知らない地域の歴史やものなどを知ることができたことで、郷土愛が育まれたと思われる。また、地域について学ぶ良い契機になったと考えられる。 今後も、地域事業などに冊子を活用しながら地域に愛着が湧く取組を工夫し周知・啓発に取り組んでいただきたい。					
担当課としての今後の対応									
冊子が活用されるよう周知・啓発を働きかけていく。									

**令和4年度 公募提案型市民協働事業
評価シート【提案団体用】**

事業名			
団体名		担当課名	
補助金交付額(実績)	千円	補助事業 開始年度	
総事業費(実績)	千円		

評価項目	評価ポイント	評価
Ⅰ 課題解決	① 地域課題や市民ニーズを捉えた事業となっていたか。	
	② 公益的・社会貢献的な事業となっていたか。	
Ⅱ 協働の効果 事業の効果	① 協働事業として実施することによる相乗効果はあったか。	
	② 市が実施するより、効果的又は効率的であったか。	
	③ 事業を実施したことによる、具体的な効果や成果がみられたか。	
	④ 事業対象者の満足度は高かったか。	
Ⅲ 事業の実現性・ 実施能力	① 計画どおりに事業を実施することができたか。	
	② 団体の持つ専門的な知識や経験が、事業に生かされたか。	
	③ 事業計画書に掲げた目標を達成することができたか。	
	④ 予算の執行状況は適正であったか。	
Ⅳ 先駆性・独自性	① 新しい視点や発想を取り入れた事業となっていたか。	
	② 独自の工夫やアイデアが盛り込まれた事業となっていたか。	
Ⅴ 自立性・持続性	① 自己努力による資金確保や自立的な発展が見込めるか。	
	② 事業の継続性を期待できるか。又は、事業効果の持続性が期待できるか。	

評価 結果	項目別 評価	Ⅰ 課題解決	Ⅱ 協働・事業の 効果	Ⅲ 実現性・実施 能力	Ⅳ 先駆性・独自 性	Ⅴ 自立性・持続 性	総合 評価	

評価方法	評価ポイント	該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」として評価する。	
	項目別評価 (Ⅰ～Ⅴ)	評価ポイントのうち、4分の3以上が「○」である。	a
		評価ポイントのうち、半数が「○」である。	b
		評価ポイントのうち、「○」が半数に満たない。	c
	総合評価	項目別評価のすべてが「b」評価以上で、「a」評価が4つ以上ある。	A
		項目別評価のすべてが「b」評価以上である。	B
		項目別評価に「c」評価が含まれている。	C

イベント等を開催した場合は実施日	
イベント等を開催した場合は延べ参加者数	

特記事項(特に工夫した点やアピールしたい成果、反省点等を自由に記載してください。)

◇ 評価結果について

事業開始年度が令和3年度(事業2年目)又は令和4年度(事業1年目)の事業について、総合評価がB又はCである場合は、「事業改善計画書」を提出していただきます。また、総合評価がCとなった場合や「Ⅴ 自立性・持続性」の評価項目に1つでも「×」評価がある場合は、団体及び市が協議の上、事業の廃止も含めた抜本的な見直しを行うこととします。

令和4年度 公募提案型市民協働事業
評価シート【担当課用】

事業名			
団体名		担当課名	
補助金交付額(実績)	千円	補助事業 開始年度	
総事業費(実績)	千円		

評価項目	評価ポイント	評価
Ⅰ 課題解決	① 地域課題や市民ニーズを捉えた事業となっていたか。	
	② 公益的・社会貢献的な事業となっていたか。	
Ⅱ 協働の効果 事業の効果	① 協働事業として実施することによる相乗効果はあったか。	
	② 市が実施するより、効果的又は効率的であったか。	
	③ 事業を実施したことによる、具体的な効果や成果がみられたか。	
	④ 事業対象者の満足度は高かったか。	
Ⅲ 事業の実現性・ 実施能力	① 計画どおりに事業を実施することができたか。	
	② 団体の持つ専門的な知識や経験が、事業に生かされたか。	
	③ 事業計画書に掲げた目標を達成することができたか。	
	④ 予算の執行状況は適正であったか。	
Ⅳ 先駆性・独自性	① 新しい視点や発想を取り入れた事業となっていたか。	
	② 独自の工夫やアイデアが盛り込まれた事業となっていたか。	
Ⅴ 自立性・持続性	① 自己努力による資金確保や自立的な発展が見込めるか。	
	② 事業の継続性を期待できるか。又は、事業効果の持続性が期待できるか。	

評価結果	項目別 評価	Ⅰ 課題解決	Ⅱ 協働・事業の 効果	Ⅲ 実現性・実施 能力	Ⅳ 先駆性・独自 性	Ⅴ 自立性・持続 性	総合 評価	

評価方法	評価ポイント	該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」として評価する。	
	項目別評価 (Ⅰ～Ⅴ)	評価ポイントのうち、4分の3以上が「○」である。	a
		評価ポイントのうち、半数が「○」である。	b
		評価ポイントのうち、「○」が半数に満たない。	c
	総合評価	項目別評価のすべてが「b」評価以上で、「a」評価が4つ以上ある。	A
		項目別評価のすべてが「b」評価以上である。	B
		項目別評価に「c」評価が含まれている。	C

担当課としての所感 （事業効果の具体的な内容や、特に評価すべき点、改善を求める点等を記載してください。 また、担当課が担った役割についての自己評価も記載してください。）

担当課としての今後の対応 （次年度以降の協働体制や、補助終了後の対応について記載してください。）

◇ 評価結果について

事業開始年度が令和3年度(事業2年目)又は令和4年度(事業1年目)の事業について、総合評価がB又はCである場合は、「事業改善計画書」を提出していただきます。また、総合評価がCとなった場合や「Ⅴ 自立性・持続性」の評価項目に1つでも「×」評価がある場合は、団体及び市が協議の上、事業の廃止も含めた抜本的な見直しを行うこととします。